

**製品名: EGFR ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe04134**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 134 kDa; Observed MW: 175 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EGFR
別名	EGFR; ERBB; ERBB1; HER1; Epidermal growth factor receptor; Proto-oncogene c-ErbB-1; Receptor tyrosine-protein kinase erbB-1
遺伝子 ID	1956
SwissProt ID	P00533
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

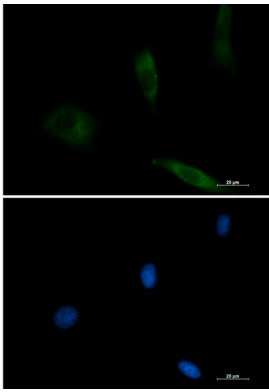
**背景**

EGFRは受容体型チロシンキナーゼです。上皮成長因子 (EGF) および関連成長因子 (TGF- $\alpha$ 、アンフィレグリン、ベータセルリン、ヘパリン結合性 EGF 様成長因子、GP30、ワクシニアウイルス成長因子など) の受容体であり、細胞の増殖と分化の制御に関与しています。1 回膜貫通型チロシンキナーゼです。この受容体へのリガンド結合は、受容体の二量体化、自己リン酸化 (トランスリン酸化) 、下流の様々なシグナル伝達分子の活性化、およびリソソーム分解を引き起こします。

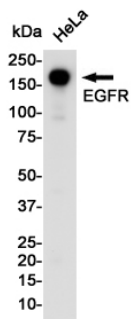
## 研究分野

シグナル伝達

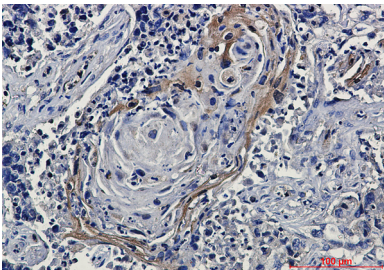
## 画像データ



EGFR 抗体と DAPI (青) を使用した 3T3 の EGFR (緑) の免疫細胞化学分析。



EGFR 抗体を使用した HeLa 溶解物中の EGFR のウェスタン ブロット分析。



EGFR 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。